

院長のゆんたく 「支えられて」



院長 池原 康一

今日も一日

笑顔でいきましょう！！

早いもので平成29年もひと月が過ぎました。前職地(中部徳洲会病院)の沖縄本島でも四季を感じることは少ないと言われていましたが、ここ石垣島はさらに暖かくなって「冬」を感じることはありません。寒さが苦手な私にとってはありがたいことです。

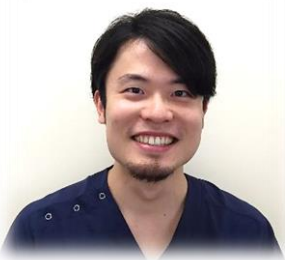
この職(院長)に就いて以降、これまで見えていなかった事を見聞きする機会をいただきました。この間、私なりにいろんなことを考え感じる事ができました。その一つは「支えられている」ということ。周りの人に支えられて医業をさせていただいていると実感したことです。これからは「私がみんなを支える時だ」という気持ちで職務を全うしたいとの気持ちを新たにしています。

今年も始まったばかりです。この気持ちを忘れずに一年間を過ごしたいものです。

離島研修スタート(宜しくお願いします！)



Smile & Smile



はまだ やすあき
濱田 泰彰

所属病院：湘南厚木病院

出身大学：産業医科大学

期 間：2月1日～3月31日

趣味・特技：バレーボール・筋トレ

石垣でやりたい事：色々遊びたい。
飲みたい。

その他一言：至らないことは多々
ありますが、
宜しくお願い致します。



～ 病棟の看護業務軽減の為に立ち上がった ～
これまで入院患者様のレントゲン検査は看護師が病棟業務を中断して搬送していましたが「看護業務に集中してほしい」との強い思いから放射線科が搬送を引き受けることを申し出ました。岡さん・森永さんの気遣いと心温まる行動に「いいね」をプレゼント！

看護部キャリアアップ研修で学んだこと



東京西徳洲会病院
看護師：庄司未保

期間：平成29年1月6日～12日

研修全体を通して印象的だったことは、職員一人ひとりが患者様の病気だけでなく家族構成・社会的背景・生活環境を把握して様々な面から支援していることであった。「患者対医療者」というより「人間対人間」としてじっくり向き合ってサポートしていて信頼関係がしっかりと構築されていると感じた。外来から入院、入院中、そして退院から在宅までの一貫した医療・看護を実際に体験することができました。

現状としての石垣島徳洲会病院はMSWがおらず退院調整は看護師が主体的に行っていました。専門性が先行している現在だが、限られた人員で最善の医療を提供しなければならない離島においては多方面から患者様をみていくこと、それに対応する知識・アセスメント・実践力が求められていることを強く感じる事ができました。

石垣島は始めてでしたが、想像以上に自然が豊かで綺麗な海があった。そこでたくさんの方々に出会い、研修中も休日も毎日が充実していました。この貴重な経験をこれからの人生に活かしていきたいと思えます。(研修報告より一部抜粋)

今回の研修の目的・目標としては「急性期病院や救急対応の違いを学ぶ」ことであったが、それぞれの部門で急性期病院との違いや離島ならではの特徴を知ることができました。病棟(49床)は1箇所しかないので様々な疾患の患者様が入院している。その為にある程度の知識と適応力が必要であると感じた。訪問看護では看護ケアだけでなく話を傾聴する時間が多いと感じました。一人暮らしや身寄りの少ない方が多いために話を聞くことだけでも精神的安定につながっていることを知りました。どの部署も緊急時の観察力・判断力・適応力などが必要になってくることも勉強になりました。

また、病院での研修だけでなく石垣島を案内していただいたり、竹富島まで足を運ぶことができる機会を与えていただき石垣島の自然の中でリフレッシュすることもできました。今後の課題としては、自己の看護師としての目標はまだしっかり持っていないが、今回の研修で学んだことはしっかりと念頭において経験を積み重ねながら考えていきたいと思えます。(研修報告より一部抜粋)



湘南鎌倉総合病院
看護師：石川恵理紗

期間：平成29年1月16日～19日

